

科目区分	専門分野	履修学年	2年前期	単位数	2	時間数	45
科目名	臨床外科看護総論			担当教員	専任教員 外部講師		
使用テキスト	1) メディカ出版 成人看護学④ 周手術期看護 2) 照林社 急性期実習に使える！周術期看護ぜんぶガイド						
テキスト以外の教材・参考書等	1) 医歯薬出版株式会社 講義から実習へ高齢者と成人の周手術期看護 1 外来／病棟における術前看護 2) 医歯薬出版株式会社 講義から実習へ高齢者と成人の周手術期看護 2 術中／術後の生体反応と急性期看護						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>周手術期の看護は、治療による侵襲や侵襲に対する耐性・回復力をアセスメントし、回復を妨げる要素を把握し合併症を防ぎ、早期回復に向けて援助する。周手術期に関わる看護師は、手術に対する患者の身体的準備や術後の回復を促進する援助だけでなく、心理的にも疾患や手術を告げられたときから手術に対する準備、術後の状態への受け止めにも関わる。患者・家族と医師をはじめとする他の医療従事者との調整役でもある。</p> <p>この科目では周手術期の全過程における知識と看護を学習する。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 手術による侵襲が理解できる。</li> <li>2. 術前のリスクアセスメントが理解できる。</li> <li>3. 手術中の看護が理解できる。</li> <li>4. 術後の看護と合併症、合併症予防の援助が説明できる。</li> <li>5. 術後の継続看護の必要性が理解できる。</li> </ol>							
評価方法	筆記試験,パンフレット						
備考	DVD 周術期看護 安全・安楽な看護の実践 中村美知子監修 を見ます。 Power Point を使う授業もあるので授業前に確認すること。 必要時資料配布 関連科目：専門分野						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	周手術期に関連する基礎知識	
2	外科的侵襲に対する生体の反応	

3	術前の看護	
4	意思決定への援助	
	リスクアセスメント	
5	直前の準備	
6	DVD 周術期看護 術前の看護をまとめる	DVD 準備
7	手術室とは 手術前日・当日・術後の看護	
8	麻酔と看護	
9	手術中の看護 器械出し看護・外回り看護	
10	手術室の環境と管理システム	Power Point 資料配布
11	術直後の看護	
12	帰室時の観察と看護	
13		
14	術後合併症の予防と発症時の看護	
15		Power Point 資料配布
16	術後の回復を促す援助	
17	疼痛管理	
18	術後の回復を促す援助 輸液管理 創傷管理 ドレーン管理	Power Point 資料配布
19	術後の回復を促す援助	
20	輸液管理 創傷管理	Power Point 資料配布
21	ドレーン管理 DVD 周術期看護 術後の看護をまとめる	DVD 準備
22	術後の継続看護と日帰り手術 術前患者のパンフレット作成について	課題 術前患者のパン フレット
23	終講試験 まとめ解説	

周手術期の対象に関わる看護師は、手術療法を選択するという意思決定への援助をはじめ、手術による生体への侵襲に対する耐性や回復力のアセスメント、予測される合併症とそれを防ぎ最大限良好な状態で手術へ臨むための援助・指導、手術が安全・安楽で円滑に行われるための援助、手術直後の危機的状況を回避するための援助、合併症を起こさず順調な回復を促す援助と多岐にわたる役割をもつ。学生には、手術療法とはどのような治療法なのか、手術を選択する際の心理を事例や DVD で学習させ、自分や家族、親しい人が手術をすることになったら何を感じ、不安を持つのか考え、対象の心の揺れに気づかせたい。そのうえで手術を選択した対象の気持ちを支え、合併症を予防し心身ともに最大限良好な状態で手術へ臨む重要性に気づくことができるよう指導する。また、術後の対象の状態を侵襲に対する生体の反応をふまえて考えさせ、異常の早期発見と合併症の予防の重要性を学ばせたい。